記者発表資料

平成２６年度
第１回災害対策等緊急事業推進費の執行について

平成２６年６月２５日
東北地方整備局

＜記者発表会：宮城県政記者会、東北電力記者会、東北専門記者会
秋田県政記者クラブ＞

問い合わせ先

国土交通省　東北地方整備局　TEL022-225-2171（代）

総　　括：企画部 企画課　課長　　濱谷 健太　（内線3151）

道路(直轄)関係：道路部 道路管理課　課長　　樋口 和則　（内線4411）

第１回災害対策等緊急事業推進費の概要

災害対策等緊急事業推進費は、自然災害により被災した地域、又は重大な交通事故が発生した箇所等において、緊急に再度災害の防止対策又は事故の再発防止対策を実施し、住民及び利用者の安全・安心の確保を図ることを目的とした経費です。

平成２６年度　第１回災害対策等緊急事業推進費　執行地区一覧表

［金額単位：百万円］

種別	事業名		事業主体名	施行地	実施計画額	
					事業費	国費
低気圧に伴う強風・豪雪・雪崩等による被害						
一般国道（直轄）						
(1)	道路維持管理事業	一般国道48号　仙台市青葉区作並地区雪崩対策	国土交通省	宮城県　仙台市青葉区作並	1,360	1,360
(2)	道路維持管理事業	一般国道13号　湯沢横手道路湯沢市桑崎～沖鶴地区防雪対策	国土交通省	秋田県　湯沢市桑崎～沖鶴	560	560
計			２件		1,920	1,920
総　　計			**２件**		**1,920**	**1,920**

災害対策等緊急事業推進費の概要については、以下のホームページをご覧ください。

http://www.mlit.go.jp/kokudoseisaku/kokudokeikaku_tk4_000002.html

（1） 災害対策等緊急事業推進費（災害対策）

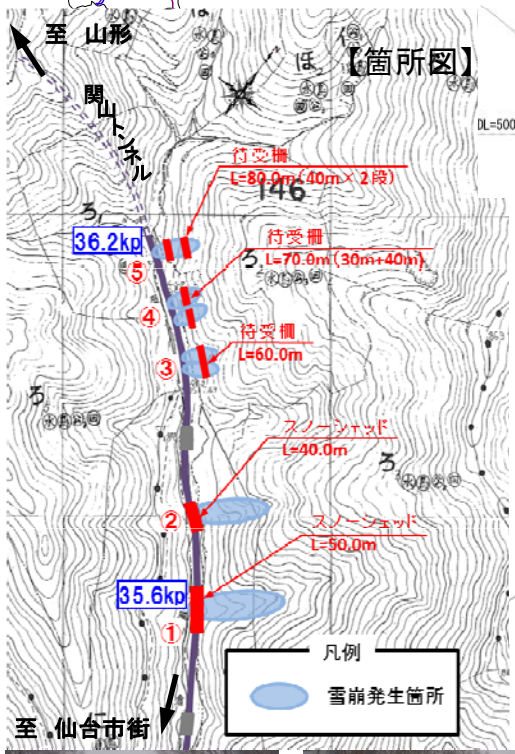
事　業　名	道路維持管理事業（一般国道48号　仙台市青葉区作並地区雪崩対策） センダイシ アオバク サクナミ チク ナダレタイサク		
事業主体	国土交通省		
施　行　地	センダイシ アオバク サクナミ 仙台市青葉区作並		
事　業　費	1，360（百万円）	国　費	1，360（百万円）
内　容	平成26年2月15日に南岸低気圧による異常降雪が発生し、作並除雪ステーションで35cm／日、新川観測所で観測史上最大の43cm／日を記録した。この豪雪により、国道48号仙台市青葉区作並地区において雪崩が発生し、立ち往生車両88台、けが人2名、避難者75名を出して全面通行止め（10日間）となった。 今後の豪雪により、再度交通への影響が発生しないよう、推進費を活用して緊急にスノーシェッド及び待受柵を設置することにより、交通の安全を確保する。		

【位置図】

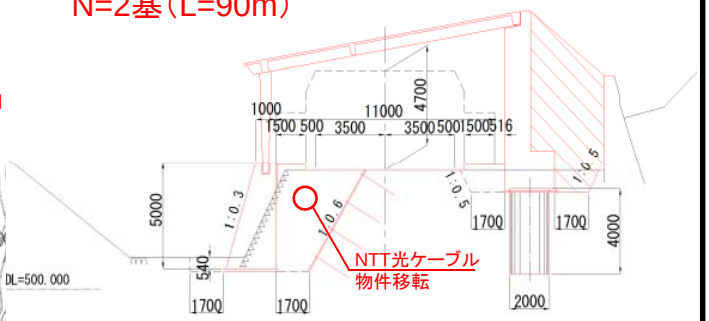


凡　例	
赤	推進費要求箇所（当年度施行）

【箇所図】



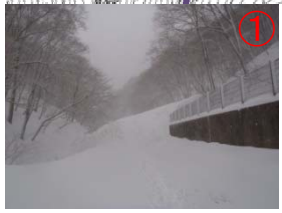
【スノーシェッド】
N=2基（L=90m）



【待受柵】
N=3箇所（L=210m）



【被災状況写真】





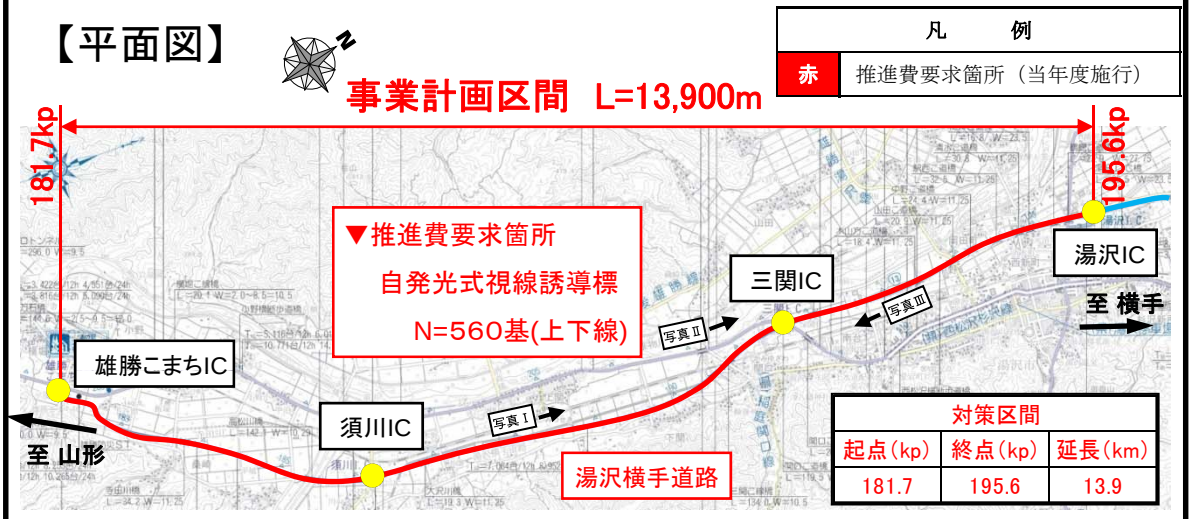




（2） 災害対策等緊急事業推進費（災害対策）

事　業　名	道路維持管理事業（一般国道13号 湯沢横手道路（ユザワヨコテドウロ） 湯沢市桑崎～沖鶴地区防雪対策（ユザワシ クワガサキ オキツル チク ボウセツタイサク））		
事業主体	国土交通省		
施　行　地	秋田県湯沢市桑崎～沖鶴（ユザワシ クワガサキ オキツル）		
事　業　費	560（百万円）	国　費	560（百万円）
内　容	平成26年1月10日～13日にかけて、発達した低気圧が居座り、この影響で本地域では50cm／日の降雪と最大風速18.6m／sの暴風を観測した。これにより、本地域は豪雪・猛吹雪による視程障害となり、国道13号湯沢横手道路の雄勝こまちIC～湯沢IC間において延べ40時間弱の全面通行止めが発生した。今後の豪雪・暴風等により、再度交通への影響が発生しないよう、推進費を活用して緊急に自発光式視線誘導標を設置することにより、交通の安全を確保する。		

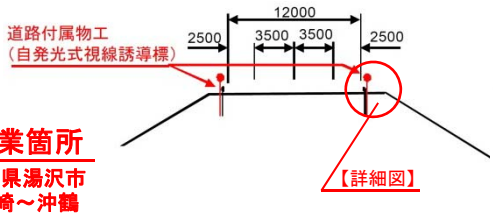
【平面図】



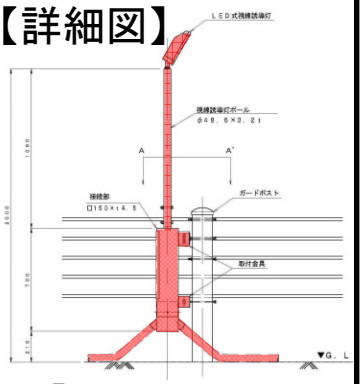
【位置図】



【断面図】



【詳細図】



【被災状況写真（平成26年1月10日発生箇所）】

■視程障害状況　写真Ⅰ



■情報提供(通行止)状況　写真Ⅱ



■単独事故状況　写真Ⅲ

